まちづくりやボランティアなどに参加している
地域活動の担い手をシリーズで紹介します

楽しく生き生き♪ 老人クラブ

老人クラブでは、高齢者たちがさまざまな活動を行っています。自分の健康づくりのため、地域の子どもたちのため、その活動はさまざまです。自分も楽しみながら、誰かの役に立つことを見つけられる、老人クラブの活動について紹介します。

入れる順番や数を相談しながら、色とりどりのポプリを瓶に詰め、ポプリポットを作っています。

新琴似西地区で活動している新光OBG（オービージー）クラブ（星野和男（ほしのかずお）会長）の主な活動場所は知的障がい者更生施設「札北荘（さつきたそう）」です。普段は施設が休みの土曜日や日曜日に、場所を借りて、お喋りやスポーツを楽しんでいます。

同クラブでは、同じ地域で過ごす仲間として、施設を利用する障がいのある人たちとも交流したいと、もちつき大会やクリスマス会など、いろいろな行事を行ってきました。今年からは、施設のレクリエーションの時間を使って輪投げなどのゲームや雑貨作りなどを一緒に楽しんでいます。遊び方や作り方を教えたり、時には教えられたり。行事や交流会を重ねるうちに、施設の外で出会っても笑顔であいさつを交わすようになりました。

「交流会に参加するたび、元気をもらっています。『老人クラブと施設の交流』から『地域と施設の交流』へと活動を広げていけたらいいですね」と星野さんは語ります。

輪投げを見守る星野さん（右から２人目）

他のクラブでも、ふきんを作って高齢者施設に寄付したり、小学校の登下校の見守りをしたりと、地域に貢献するさまざまな活動が行われています。

気の合う仲間がほしい、趣味を楽しみたい、参加のきっかけはいろいろですが、地域の役に立つことのできる活動を通して、新たな生きがいを見つけている人がたくさんいます。

老人クラブに参加してみませんか？

北区内では90を超える老人クラブが活動しています。自宅から近いクラブは？どんな活動をしているの？など、お気軽にお問い合わせください。

詳細
北区保健福祉課活動推進担当係 ☎（757）2400 内線342

ねんりんピック北海道・札幌2009に参加します！

平成21年9月5日（土）～8日（火）に開催される「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」は、60歳以上の方を中心とするスポーツや文化の祭典。
北区老人クラブ連合会（星野和男（ほしのかずお）会長）の会員たちも、参加選手の登録作業や、北海道の魅力を伝えるための「地域文化伝承館」の企画・運営など、さまざまな役割を担っています。